

町長日誌 No.167



町長日誌の第167号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

9月13日(水) PM5:00

久しぶりに降りだした昨日からの雨は、沙留神社のお祭りに大きく影響してしまいました。子供相撲はトレーニングセンターの中で行い、神輿も子供みこしは中止、天狗さんも中止、大人神輿は時間短縮で行ったようです。お祭りとしては残念なのですが、この雨が不漁模様の伝えられる秋サケ大漁の呼び水になってほしいと願い、沙留神社で玉ぐしを奉納しました。午後からは、第3回定例議会が始まりました。二人の議員さんから「高齢者の足確保策」、「小規模事業振興条例」についての一般質問があり意見交換をさせて頂き、その後4942万円を追加する一般会計予算などについて決定して頂きました。議会は15日までの会期があり14、15日には28年度の決算についての審議も行います。

9月はイベントの多い季節で、月初めにはHTBテレビが主催する「イチオシ祭り」、8日から札幌大通り公園で開催されています「オータムフェスト」に観光協会が中心となって5日間出店しました。イチオシは真駒内を会場に開催されたのですが今年で3回目の出店です。今年は夏まつりに商工青年部が苦労に苦労を重ねて作り上げた「コロッペ(チーズやサケを練りこんだをライスコロック)」を販売したところ大好評で4000個も売れたようです。コロッペを店頭で揚げるのですが、さすがに遠山青年部長も油を見たくなくなる位の手応えであったようで、既に他町村からイベントで出品してほしいとの依頼もあるようです。



一方、オータムでは今年からソフトクリームを出店しました。皆さんは興部にソフトクリームを製造している店舗が幾つあるかご存知でしょうか？ JAの興部アイス、ノースプレインファーム、富田ファーム、アドナイでつくる4種類のソフトクリームが興部にはあります。アドナイさんのソフトは残念ながら町内では販売してないのですが、今回のオータムでは4種類

の日替わり販売を行いました。これまた大変な好評で、町内でもこの4種類のソフトが食べ比べ出来たら良いのになあと思いました。

8月30日(水)

名寄市でJR宗谷本線の活性化フォーラムがあり山川議長と出席しました。興部町としてJR問題を検討する協議会には、石北線協議会はオホーツク管内の一員として加入していますが、JRの利用としては殆どが名寄駅からの利用なので宗谷線の協議会にも西興部村や雄武町と一緒に参加しています。現在JR北海道は、このままでは後2年ほどで資金繰りが出来なくなると社長自ら表明しており、少なくとも来年には方向性を示さなければなりません。道内はどの路線も赤字で、宗谷本線や石北線は収益の5倍前後の費用が掛かっており、これだけでも大変なのですが、鉄橋やトンネルは明治時代に造ったものでいずれ改築が必要ですが、その資金はJRには無いと言う話です。今回のフォーラムには石破茂(元)地方創生担当大臣を講師に招きましたので、JR問題解決の糸口が見つかるのでは？ と何らかの示唆を期待し参加しました。石破さんは、鉄道オタクと言われるほどの鉄道通ですから余計に期待をしていましたが、人口減少問題がお話の大半で、JR北海道に対しての明確な発言はありませんでした。ただ「あなた達の地域の交通体系は、あなた達自らが考えなければならないのです。」と言うことを何度も仰っていました。北海道選出の国会議員の皆さんとお話しても石破さんと同じことを言われます。これまで150年間北海道は国の方針の下、石炭・鉱物・木材・食糧の生産に勤め、本州への移出のために鉄道網は整備されて来ました。これらは総て国の方針で、地域の考えなど皆無でありました。月日は経過し、石炭や木材は海外からの自由化に負けて閉山、木材産業はどん底まで凋落しました。これも国が決めた事です。今また食糧もTPPやEUとの自由化により影響を受ける可能性は大きいのです。これも私たちが望んだことは一度もありません。すべて国が決めた事です。それなのに、明日にも倒産しそうな鉄道だけは『地域で考える！』と言うのは虫が良過ぎないでしょうか？ 石破さんは「人口減少が進むと地域は消える、だから今頑張らなければならない！」と言われていましたが、長い間そのように仕向けて来たのは、いったい誰だったのか？ と思いながらの帰路になりました。

秋祭りも終わろうとしています。大型の台風18号が進路を変え北海道を目指す可能性が出てきました。この広報誌が届いた時には「何もなくて良かったね！」と言えることを願うのみです。さあ、食欲の秋、行楽の秋です。自然を楽しむ季節となります。心が辛い、身体が辛いと言う方もいらっしゃるでしょうが下ばかり見ないで、腰を伸ばし、胸を反らし山の紅葉を見て深呼吸するとちょっと楽になるかも知れませんよ！ では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

